

特別
審査員賞

なの花賞

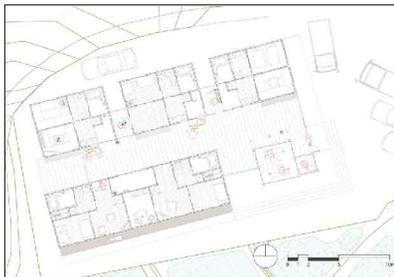
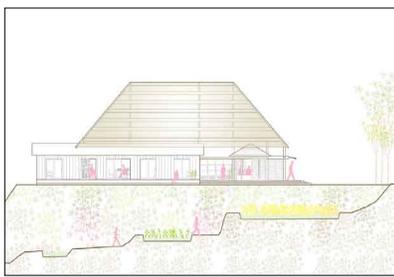
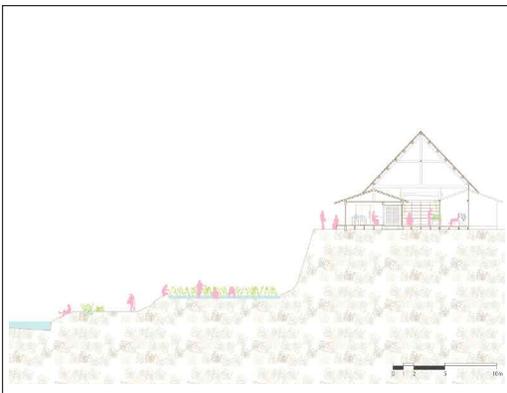
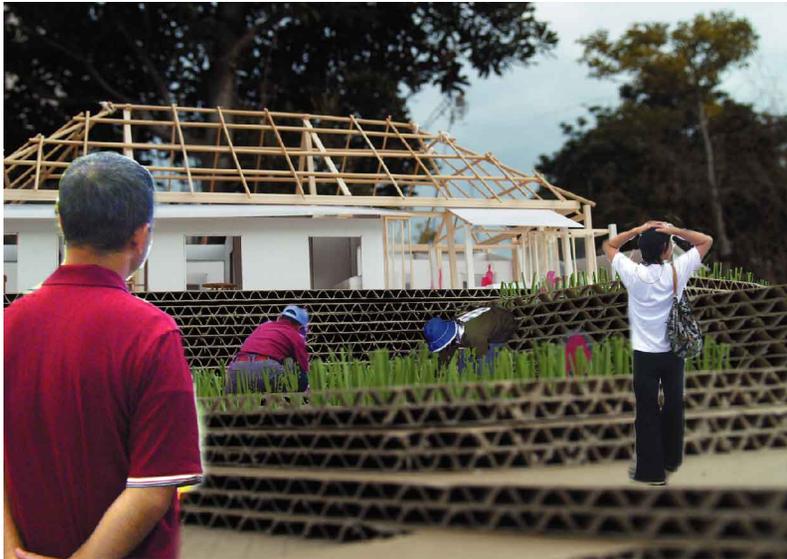


かもがわせかんどらいふ

高齢期における自立生活を維持する方法

浅野 佳菜 (あさの かな)

千葉大学 工学部 都市環境システム学科



【講評】「こういう老後の暮らしがあれば・・・」誰もが理解でき、共感を呼ぶ作品である。鴨川市や実際にイターンした住民への聞き取り調査を下敷きにした提案は強い説得力を持つ。「老後の孤独な一人暮らし～楽しい共棲へ」また、「地元住民とのネットワークの必要性」を挙げその手段として「仮住まい～終の棲家」という段階的居住形態の着想も素晴らしい。現存する普通の戸建てアパートの間に大屋根をかけて共有空間を作り出し、畑や海という鴨川の豊かな外部環境とつながって魅力的共棲空間を生み出している。いかにも貼り付けたゾという不自然なコラージュも、シンプルでストレートな提案に素朴な印象を与える。しかし、ガラス張りという骨組みだけの大屋根や、説明にあったこれらが繋がって街を創るといふ事への建築的提案、表現が若干弱い事で一部の審査員の支持にとどまった。既存のストックを生かしてちょっとだけ手を加えることで「老後の魅力的住環境を創る」・・・実現へ向けた作者の今後に期待したい。(審査員：柳田富士男)